

第237回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2011年3月11日 (金) 13:00~17:30
会 場 薬業健保会館 (http://www.toyaku-kenpo.or.jp/member/01_info/111_01.html)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-2, TEL: 03-3581-1231
アクセス: ①東京メトロ銀座線・丸の内線『赤坂見附駅』徒歩5分
②東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線『永田町駅』(6番出口)徒歩5分
③東京メトロ千代田線『赤坂駅』(1番出口)徒歩15分

開催趣旨

食料の6割を諸外国に依存している日本にとって、輸入食品をはじめとする食品の安全・安心が問われています。残留農薬や残留動物用医薬品等を規制したポジティブリスト制度や、アフラトキシンに代表されるマイコトキシン(カビ毒)関連の規制や分析方法が注目されております。それ以外にも食品添加物や栄養成分などのクロマトグラフィーを用いた分析(定量・定性)が年々増加しております。今回は、食品分析における前処理から分析までの要点や留意点の提案の場になればと考えております。

講演主題 食品分析における前処理～分析のいろは

講 演 講演主題概説(オーガナイザー)(13:00~13:05)

(和光純薬工業(株))大久保克哉

1. 食品分析におけるプレフィルトレーションと水の重要性(13:05~13:35)
(日本ミリポア(株))石井直恵
2. 食品分析サンプル前処理のこつ(13:35~14:05)
(日本ウォーターズ(株))佐々木俊哉
3. 食品分析における蛍光検出 HPLC の応用(14:05~14:35)
(株)島津製作所)渡邊京子
(休憩. 14:35-14:50)
4. 残留農薬分析におけるノウハウ&分析上の問題点について(14:50~15:35)
(財)残留農薬研究所)坂 真智子
5. 食品油脂の分析~HPLCによるトリアシルグリセロール分子種分析について
(15:35~16:05) (月島食品工業(株))永井利治
(休憩. 16:05 -16:15)
6. 食品分析に求められる試薬の信頼性(16:15~17:00)
(和光純薬工業(株))瀧内邦雄
7. 総括:食品分析とHPLC(17:00~17:30)
(東京理科大学薬学部)中村 洋

カタログ展示 1小間5,000円(場所・スペースは運営委員に一任させていただきます。)

参加費 LC研究懇談会会員:1,000円,協賛学会会員(日本分析化学会含む):3,000円,その他:4,000円,学生:500円(参加費は当日申し受けます)

情報交換会 講演終了後,講師を囲んで交換会を開催します(参加費:3,000円)。希望者は必ず前もってお申し込みください(参加費は当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は,同封の参加申込書にご記入のうえFAXまたは同内容をEメールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので,直接会場にお越しください(定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号

社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話:03-3490-3351, FAX:03-3490-3572, E-mail:hm_tanaka@jsac.or.jp]